

ムラ・人・農が織りなすゆがふむら・今帰仁

な き じ ん そ ん

今帰仁村



市町村コード	473065	類型	Ⅱ-0
所在地	〒905-0492 今帰仁村字仲宗根219番地		
T E L	(0980)56-2101	F A X	(0980)56-4270
ホームページ	http://www.nakijin.jp		
指定地域	辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

〈組織〉

(平成30年3月31日現在)

村長	きやんはるき 喜屋武 治樹 任期 H32.8.22 (1期)	副村長	なかはらしげひと 中原 茂仁 任期 H33.3.31 (1期)
副村長	-	教育長	たまきけい 玉 城 奎 任期 H32.6.30 (1期)

〈概要〉

県下 16 位		
総面積 H29.10.1	耕地 H29.7.15	宅地 H29.1.1
39.93 km ²	851 ha	2,590,956 m ²

県下 24 位		
住基人口 H29.1.1	H27国調人口	H22国調人口
9,604 人	9,531 人	9,257 人
年少人口割合 15.1% (県全体 17.4%)	高齢化率 28.1% (県全体 19.6%)	

住基世帯数 H29.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
4,323 世帯	3,490 世帯	3,368 世帯

有権者数 H30.3.1	男	女
7,769 人	3,983 人	3,786 人

議長	ひがしおんなかんせい 東 恩 納 寛 政	副議長	よなみねよしかず 與 那 嶺 好 和
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	11	11	H30.9.27
	常任委員会		
	総務文教、経済建設		
	党派構成	無所属	- - - - -
		11	- - - - -

沿革

明治41年4月1日	村制施行
-	-
-	-
-	-
-	-

〈基本構想〉

基本構想	H24~H33	中長期財政計画	無
基本計画	H29~H33	(- -)	
実施計画	-	(- -)	

〈平成30年度主要事業〉

(百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	漁村再生交付金事業	継続	166
補助	幼保連携一体化施設整備事業	継続	887
補助	村道古宇利一周線道路改築事業	新規	142
補助	村道与比地小浜原線改良事業	新規	77

〈今後の主要プロジェクト〉

(百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	集落基盤整備事業(今帰仁西地区)	H28~H31	256
補助	漁村再生交付金事業	H27~H31	509
補助	村道古宇利一周線道路改築事業	H29~H33	612
-	-	-	-

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

〈村の花・木・鳥・魚/名所・旧跡/祭・行事等〉

村花	ハイビスカス	村木	リュウキュウマツ
村鳥	サンコウチョウ	村魚	ツノダシ
名所・旧跡	今帰仁城跡・諾志御嶽の植物群落・羽羽岳・仲原馬場・運天港・古宇利大橋・古宇利オーシャンタワー・ワルミ大橋		
祭り、行事	今帰仁まつり・ウンジャミ(古宇利)・今帰仁グスク桜まつり・いな運天港いちやり場まつり・古宇利島マジックアワーRUN		
名産・特産	スイカ・ゴーヤー・キャベツ・紅いも・花弁・マンゴー・ぶどう・えのき茸・ドラゴンフルーツ・モズク・泡盛(古里)・もろみ酢・アダー		
姉妹都市	-		
その他	-		

〈広域市町村圏・広域計画〉

北部広域市町村圏
-
-

〈基地面積〉 (H29.3末)

米国軍	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
自衛隊	
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	- ha
県面積に占める割合	-

(教育)

(平成29年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	3 園	90 人
村立小学校	3 校	585 人
中学校	1 校	305 人
村立	1 校	305 人
村立以外	0 校	0 人

(医療)

(平成28年度)

区分	施設数	病床数
病院	1 箇所	120 床
村立	0 箇所	0 床
村立以外	1 箇所	120 床
診療所	4 箇所	0 床
村立	0 箇所	0 床
村立以外	4 箇所	0 床
住民千人当たり病床数		12.5 床

(財政)

① 決算収支

(百万円)

区分	H26年度	H27年度	H28年度
歳入総額	6,166	6,196	6,575
歳出総額	5,901	5,907	6,226
形式収支	264	290	349
実質収支	255	271	295
比率	8.5%	8.8%	9.7%
積立金	136	214	138
積立金取崩額	103	99	130
実質単年度収支	108	131	33

③ 公営事業会計等における繰入金の状況

(H28年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入金
国民健康保険事業	△ 197	280	23
老人保健医療事業	0	0	0
介護保険事業(保険)	0	0	0
後期高齢医療事業	2	44	0
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
法 非 適	-	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
-	0	0	0
法 適	簡易水道事業 △ 209	30	0
-	0	0	0
-	0	0	0

④ 歳入の状況

(H28年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	629	9.6%
地方譲与税	46	0.7%
地方交付税	2,315	35.2%
普通交付税	2,117	32.2%
特別交付税	198	3.0%
国庫支出金	734	11.2%
県支出金	1,186	18.0%
地方債	363	5.5%
その他	1,302	19.8%
歳入総額	6,575	100.0%

④ 歳出の状況

(H28年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	899	14.4%
物件費	1,085	17.4%
扶助費	671	10.8%
補助費等	695	11.2%
公債費	446	7.2%
普通建設事業費	1,391	22.3%
補助事業費	1,324	21.3%
単独事業費	68	1.1%
その他	1,039	16.7%
歳出総額	6,226	100.0%

(産業)

① 産業別就業者数 (H27国調)

区分	就業者数	構成比
第1次	1,040 人	24.6%
第2次	576 人	13.6%
第3次	2,612 人	61.8%
合計	4,228 人	100.0%

(福祉)

区分	施設数	収容定数
保育所(H29.4.1)	4 箇所	280 人
村立	4 箇所	280 人
村立以外	0 箇所	0 人
生活保護費(H28年度平均)		19.01 人
人口千人当たり		

② 村内総生産

(H26年度実数)(百万円)

分類	総生産	構成比
農林	1,682	10.6%
水産	67	0.4%
鉱・製造	1,006	6.3%
建設	2,097	13.2%
電気ガス水道	362	2.3%
運輸・通信	736	4.6%
卸売・小売	2,145	13.5%
金融保険不動産	303	1.9%
サービス	3,834	24.1%
政府サービス生産者	3,293	20.7%
民間非営利団体	400	2.5%
合計	15,925	100.0%

② 主要指標

(百万円)

区分	H26年度	H27年度	H28年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.20	0.21	0.22	26	0.36	0.52	0.30
標準財政規模 a	3,020	3,092	3,061	26	8,229	22,349	3,051
経常収支比率	78.7	72.4	74.6	3	86.7	87.8	83.9
人件費	26.3	24.6	22.7	11	23.4	22.6	25.4
扶助費	3.0	3.2	4.2	16	14.2	17.1	6.8
公債費	16.9	14.5	14.6	18	14.4	14.9	13.3
物件費	8.1	6.6	8.5	2	14.0	13.6	15.2
その他	24.5	23.5	24.6	32	20.7	19.6	23.2
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	11.5	10.8	10.0	37	8.3	9.0	6.6
将来負担比率	42.3	24.7	17.3	-	26.9	41.7	-
税徴収率	93.6	94.4	95.6	21	96.2	96.4	95.4
現年課税分	97.7	97.7	98.2	25	98.6	98.7	98.5
滞納繰越分	39.7	43.3	46.4	3	37.7	39.3	33.1
債務負担行為額 b	119	106	93	-	-	-	-
b/a %	3.9	3.4	3.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	3,296	3,154	3,104	-	-	-	-
c/a %	109.1	102.0	101.4	3	-	-	-
積立金現在高	819	1,134	1,256	-	-	-	-
財政調整基金	386	501	509	-	-	-	-
減債基金	28	38	38	-	-	-	-
その他特目基金	405	594	708	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	62,036	62,189	65,491	2	-	-	-
自主財源比率	22.7	26.6	27.0	26	-	-	-

(行政の特色)

すべての人が健康で安心して暮らせる生活環境の整備を推進し、伝統文化の継承や生涯学習の機会を創出することにより、人々の交流の活性化を目指します。また、基幹産業である農業の更なる拡充を図りつつ、商工業や観光業など他産業との連携を強化し、経済的自立と産業の振興を図ります。「ムラ・人・農が織りなすゆがふむら・今帰仁」を将来像としています。